

果敢に突き進む一年に

明けましておめでとうございます



大勢の初詣客でにぎわう元旦の新勝寺



成田市長
小泉一成

市民の皆様には令和8年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、十二支の7番目に当たる午年です。午年の特徴として、情熱や決断力が挙げられ、困難な状況にも果敢に立ち向かう姿勢を持ち合わせ、目標に向かって突き進むことができる年とされています。

また、本年は、私が市長に就任してから5期目の総仕上げの年となります。千葉県の中核を担う都市として大きく成長した本市が、さらに発展していくため、午年にあやかり、市政運営に係る多くの

目標に向かって果敢に突き進んでまいります。

さて、成田空港を取り巻く環境は、昨年6月に空港周辺地域において目指すべき姿として、国際競争力と持続可能性を兼ね備えた未来志向都市を掲げる「成田空港『エアポートシティ』構想」が示されるとともに、新たに「成田空港第2の開港プロジェクト」が打ち出されるなど、空港内外の一体的な発展に向けた動きが本格化しつつあります。

こうした中、成田空港と共に発展してきた本市にとりましても、「第2の開港プロジェクト」は、さらなる飛躍の千載一遇のチャンスであることから、人口増の受け皿となる開発や社会資本整備、雇用拡大のための企業誘致など、空港立地のポテンシャルを最大限に生かしたまちづくりを推し進めてまいります。

また、今後の超高齢社会や少子化の進行に伴い、あらゆる産業において労働力人口が減少することが見込まれております。こうした状況においても、社会情勢の変化や複雑・多様化する市民ニーズに的確に対応していくためには、より一層、行政改革を推進し、効率的かつ効果的な市民サービスを提供していく必要があります。

さらに、本市が将来にわたり持続的に発展していくため、全ての子どもが幸福に生活を送ることができる「こともまんなか社会」や、お互いを思いやりかつ尊重し、多様性を認め支え合う共生社会の実現、医療、福祉、防災・減災対策のさらなる充実、脱炭素社会の実現やDXの推進など、社会的要請の高い行政課題にも的確に対応し、市民の皆様にご共感していただけるまちづくりに向けて各種施策に取り組んでまいります。

本年も「輝かしい成田」を未来へつなぐまちづくりを進め「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりのた」を実現するための一年となること、そして市民の皆様にとつて良き一年であることを心より願ひ、年頭のごあいさつといたします。